

乳児ボツリヌス症



1歳未満の乳児期には、離乳食が始まります。お母さんやお父さんたちにとっては、おいしくて安心な離乳食を食べさせてあげたいですね。その中で、乳児期に気をつけたい病気が乳児ボツリヌス症です。

乳児ボツリヌス症って…

ボツリヌス菌という細菌に感染することによって起こる食中毒です。ボツリヌス菌はもともと土にいたる菌ですが、この細菌がついた食品を**1歳未満の乳児**が食べて起こる食中毒を乳児ボツリヌス症といいます。**乳児ボツリヌス症**の症状は進行度によって異なります。昭和61年に千葉県で初めて発症が確認されて以来、日本では約40例報告されており、平成29年には乳児の死亡事例もありました。

乳児ボツリヌス症の症状



便秘!!

初期症状



進行



中期以降

- ① 哺乳力の低下
- ② 泣き声が弱い
- ③ 呼吸困難

どんな食べ物に気をつけばいいの…?

原因となる食べ物として、**はちみつ**があげられます。離乳完了前の乳児のみが感染する理由として、腸の働きが不安定で、**ボツリヌス菌の感染に対する抵抗力が弱い**ためと考えられています。予防方法として、以下の点に十分ご注意ください。



**1歳未満の乳児に
はちみつを与えない**

 ボツリヌス菌は、熱に強い性質を持っており、**通常の加熱や調理では死滅しません**。ご家庭でははちみつを使用しない方が安全です(1歳以上の方がはちみつを食べることに問題はなく、お母さんから母乳を通じて菌がお子さんに入ることはありません。)

ちなみに

乳幼児は抵抗力が弱く、家庭の食事にも注意！

乳幼児は病原菌に対する**抵抗力が弱く**、大人では大きな問題にならない病気や病原菌でも重い症状になったり、感染しやすくなるのが少なくありません。

食中毒も例外ではありません。インフルエンザなどと同じように子どもは大人より**感染しやすく、症状も重くなりやすい**のが特徴です。

子どもが小さなうちは、**家庭の食事にも十分な注意が必要**です。